

漢字教育を科学的に考えよ

「漢字はむずかしい」これは、国語教育における天動説だとわたしは思っています。わたしたちは感覚にたよるかぎり、大地はじっとしており、太陽が動いている、としか考えられません。かなはやさしく、漢字はむずかしい、というのは、やはり感覚にだけたよった感じ方です。しかも、科学的に実証しないかぎり、わたしたちはこの考えから抜け出することはなかなかできないもののように思われます。

昭和28年から5年間にわたり、わたしは、これを科学的に調べてみました。「歩け、歩け」式の学習を三年間、「あるけ、あるけ」式の学習を二年間やってみて、それぞれの学習が、子どもたちにとって、どんなにむずかしいか、またやさしいかを、詳しく調べてみたのです。そして、この二つのやり方を比べてみますと、実にはっきりと、そのちがいがわかったのです。

「歩け、歩け」式の学習のほうが、比べものにならぬくらいやさしく、そればかりか、算数や社会科、理科の学習までが、能率的にぐんぐんとはかどっていったのです。

科学的に実証できるわたしの方式

石井方式は、いわば地動説です。科学的な方法によって発見され、正しいことが証明された方式です。しかし、人々が、感覚にだけたよったものごとを判断するかぎり、地動説が正しいものとはとても思えないように、石井方式の正しいことは、なかなか人々にわかってもらうことはむずかしいように思われます。

しかし、「あるけ」式と、「歩け」式と、この二つのやり方を実際にやってみれば、だれでも、はっきりと、石井方式の正しいことがわかります。この四月から、石井方式を採用した先生が、地方に何人がいらっしゃいます。その先生がたからのたよりによれば、

「石井先生が、いかに、『漢字はやさしい』といっているとはいえ、これほどまでにやさしいものだとは思わなかった」

と、ひとりの例外もなしに語っておられます。